

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
川島町	川島町	令和 3 ～ 7 年度	令和 3 ～ 7 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標		現 状 (令和2年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 / 目標
総人口					—
公共下水道	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	7,300	6,964	6,464	92.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	37.2%	38.1%	35.0%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2,521	2,324	2,282	98.2%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

浄化槽の維持管理に力を入れるとともに、単独処理浄化槽の使用世帯に対して、チラシ配布等により合併処理浄化槽への転換を促したが、高齢者のみの世帯などは、転換の費用負担等の理由から、なかなか転換が進まなかった。近年の転換実施世帯に理由を確認すると、既設の単独処理浄化槽等の劣化により継続して使用することが困難となったためとの理由がほとんどであった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和12年度まで

合併処理浄化槽への転換を確実に増加させるため、ホームページや広報誌に積極的に合併浄化槽への転換について掲載するとともに、汲み取り便槽や単独処理浄化槽の使用世帯に対し、個別に文書の送付を行い、より一層の転換を進めていく。また、町内の浄化槽設置業者へ、単独処理浄化槽等の使用世帯への転換の促進について、協力を依頼する。

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により合併処理浄化槽への転換を促進し、未処理人口の解消をさらに促進していただきたい。